

# 上尾市立大石南中学校 学力向上プラン「グランドデザイン」

## 学校教育目標

人生の基礎を培い 夢を語り 向上心と勇気を育てる  
 出会い ふれあい 学びあい

## 学校課題研究主題

「生徒の探究力を伸ばす教育活動の工夫」～小規模校の特性を生かした個別最適な学びと協働的な学び～

## 学力・学習状況調査の結果

R6 全国学力・学習状況調査	R6 埼玉県学力・学習状況調査	R6 上尾市立小・中学校学力調査
<ul style="list-style-type: none"> <li>国語では、情報の扱い方と言語文化に関する正答率は県や全国と比較して高い。記述式解答に関し無解答が多い事、文章から話の要旨を把握する事が課題である。</li> <li>数学では、式の計算や関数の基本的な問題に関しては県平均を上回っているが、図形や複雑な思考を要する問題の正答率が低い傾向がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学力レベルは全学年全科目とも伸びていて、学年が上がるごとに伸びも大きくなっている。特に中3の英語は4レベル伸びている。</li> <li>学力が伸びた生徒は勤勉性が高く、努力を惜しまない姿勢が見られる。</li> <li>学習方略の中では、柔軟的方策、認知的方略、努力調整方略が高く、先生に聞き、生徒間で教え合うスタイルが確立されつつある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年生（現2年）の数学・英語と2年生（現3年）の数学が全国値を超えており、特に2年数学は標準スコアが53.5と高い。</li> <li>全体的に、基礎に関する問題の正答率が高く、活用に関する問題の正答率が低い傾向がある。</li> <li>国語は言葉の特徴や使い方に関する問題の正答率が高い。</li> </ul>

## 本校で身に付けさせる学力

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
<ul style="list-style-type: none"> <li>①個々の知識を教科横断的に結び付け、体系的に捉える力</li> <li>②文章や言葉の意味と使い方を正しく理解する力</li> <li>③学習した技能を、家庭や日常生活で使用し定着させる力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>④文章や他者の発言から、その要旨や意図を読み取る力</li> <li>⑤目的にあわせて適切な表現を判断し、文章にする力</li> <li>⑥自分の考えを、理由や根拠をもとに筋道立てて説明する力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑦自分の意見を積極的に伝え、粘り強く学習に取り組む力</li> <li>⑧学習内容を更に探求したり、思慮深い行動したりする力</li> <li>⑨自分にあった目標を立て、見通しをもって学習に向かう力</li> </ul>

## 学力向上のための授業改善

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
<ul style="list-style-type: none"> <li>他教科の学習内容との関連を考えたり、課題を総合的に考察しながら発想・表現したりする活動を行う。</li> <li>新しく学習した知識や言葉を用いて表現したことを伝え合う活動を行う。</li> <li>既習の知識を日常生活の中で活用したり、体験活動を通して新たな技能を身に付けたりする活動を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えを表現するとともに相手の意見や文章表現からその意図や伝えたいことを読み取る活動を取り入れる。</li> <li>自分が伝えたいことや、達成する目的に合わせて自分の考えや文章を推敲したり適切な表現に変えたりする活動を行う。</li> <li>実験結果や資料から、事象の要因を考察し、理由や根拠とともに表現する活動を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ペアやグループになり、積極的に考えを伝え合い、そのために必要なスキルを身に付けさせる活動を行う。</li> <li>学習内容と自分の生活を結び付け、主題や題材に込められたねらいや想いを読み取り、よりよい活動を目指す取組を行う。</li> <li>学習内容をもとに、今後の生活のあり方や他者との関わり方について考え、よりよい生き方を模索する活動を取り入れる。</li> </ul>

## 本校の特色ある取組

- ・磨心（まごころ）清掃の実施
- ・石南学習会の実施
- ・生徒による校則「石南 LIFE」の施行
- ・年間5回のイベントテストの実施
- ・教科ルームの充実
- ・少人数指導等の実施
- ・実力テストの実施
- ・学力向上推進委員会の設置
- ・学習時間を確保した教育課程

## 家庭教育との連携

- ・フッ化物洗口の実施
- ・自学ノートの活用
- ・「学びのススメ」の活用
- ・「ISNINAN 進学フェア」の実施

# 学力向上を図る取組

## (1) 各教科の授業における取組

### 本校で身に付けさせる学力

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
①個々の知識を教科横断的に結びつけ、体系的に捉える力 ②文章や言葉の意味と使い方を正しく理解する力 ③学習した技能を、家庭や日常生活で使用し定着させる力	④文章や他者の発言から、その要旨や意図を読み取る力 ⑤目的にあわせて適切な表現を判断し、文章にする力 ⑥自分の考えを、理由や根拠をもとに筋道立てて説明する力	⑦自分の意見を積極的に伝え、粘り強く学習に取り組む力 ⑧学習内容を更に探求したり、思慮深い行動したりする力 ⑨自分にあった目標を立て、見通しをもって学習に向かう力



教科・領域	重点的に身に付けさせる学力	具体的な取組	成果
国語	② ④、⑤	②授業初めに小テストを実施し、その解説を丁寧に行う取組。 ④⑤日頃の授業において、自分の考えを表現する活動を取り入れるとともに、相手の意見や文章表現からその意図や伝えたいことを読み取る活動を行う取組。	
社会	③、⑥	③資料の読み取り方の視点を明確にし、そこから課題を推測し、よりよい社会を築くための解決策を考える取組。 ⑥既習事項を基に、事象の因果関係を説明する取組。	
数学	①、⑥	①知識の習得時、既習事項と結びつけて捉えたり、他教科の学習内容との関連を考え話し合ったりする取組 ⑥問題解決時、解法の理由や根拠を中心に発表する取組	
理科	③、⑥、⑦	③実生活の中にあふれる理科に関わる事象を例として提示し、家庭や日常生活に関連付けさせる取組。 ⑥観察・実験の結果から、なぜそうなったのかを考察し、話合わせ、レポート等に表現させる取組。	
外国語	②、⑦	②新出語句と言語材料の特徴や意味を理解し、それらを用いて伝え合う技能を伸ばす取組。 ⑦積極的に自分の考えや意見を伝え合うために必要な技術や学習内容を習得しようとする取組。	
音楽	②、⑧	②音楽記号や強弱記号を理解し楽譜を見て、それらを用いて表現し伝え合う技能の取組。 ⑧歌詞の内容や曲想を理解し、その思いを伝え合い表現する取組。	
美術	①、⑧	①様々な知識や経験を踏まえて発想・構想し、作品主題を練って表現する取組。 ⑧自分なりの表現方法を探求し、主題に合わせて工夫しようとする取組。	
技術	①、③	①理科、社会科の指導計画に合わせ、多角的な学びを進める取組。(電気エネルギー、環境負荷、食糧問題等) ③夏野菜の栽培、食材としての利用に係る取組。	
家庭	③、⑨	③体験を通して、基礎的な知識や技能を身に付ける取組。 ⑨自分の生活から課題を見出し、今後の生活を見据えた上で、解決に向けて様々な視点から考え、探求する取組。	
保健体育	③、⑦	③知識や運動経験を元に、自己の健康や運動習慣に結び付ける取組。 ⑦ペアやグループ学習を通して考えを伝え合い、粘り強く課題解決に向かう取組。	
特別の教科 道徳	⑧、⑨	⑧題材を日常生活に置き換え、今後の生活とリンクさせ、考えさせる取組。 ⑨これからどのように他者と関わり、自身の人生を歩んでいくのかを様々な視点から考えさせる取組。	

A・・・取組の効果が十分に見られた B・・・今後も課題として取り組む C・・・取組を見直す

## (2) 教育活動全体を通じた取組

### 本校の特色ある取組

・磨心(まごころ)清掃の実施	非認知能力の育成を目指し、生徒が自ら清掃に集中して取り組む清掃活動を実施している。責任感を醸成するため清掃長を各分担場所に設け、生徒会本部と連携し主体的な取組を実施している。
・石南学習会の実施	定期テスト前の最終授業コマを使い、クラスでは自習、特別教室では先生に質問したり、生徒が互いに教え合ったりできる場を設けた。
・生徒による校則 石南 LIFE の施行	生徒によって校則を設定し、生徒総会で改訂していくことによって、生徒の非認知能力の向上を図っている。
・年間5回のイベント テストの実施	英単語や400マス計算など、全学年共通のテストを実施している。練習の時間を設け、努力すれば満点を取ることができる環境を整えることで、達成感を味わわせて学習意欲の向上を図っている。
・教科ルームの充実	国語・数学・英語・社会において、教科ルームを設置し、それぞれの教科に特化した教室づくりを行っている。授業環境を充実させることで集中力を高め、学習活動の活性化を図っている。
・少人数指導等の実施	国語・数学・理科・社会において、TTや単元に応じた少人数指導・習熟度別指導等を実施し、基礎的・基本的な学力の育成と共に応用力の育成にも取り組み始めている。
・実力テストの実施	1・2年生において、年に2回の実力テストを実施し、個人の伸びに着目すると共に、分析結果を基にして授業改善に取り組んでいる。
・学力推進委員会の設置	学力推進委員会を設置し、学力向上に向けて共通理解・情報共有を行うとともに、学校で行っている取組の工夫改善を行っている。
・学習時間を確保した教育課程	定期テストを2日間で計画をすることで、学習に向き合う時間の確保と学習の質の向上を図っている。

### 家庭教育との連携

・フッ化物洗口の実施	健康管理の面からも学習を支えていただくため、むし歯の治癒率を高める働きかけとともに、むし歯の予防についても学校から発信し、意識を高める取組を行っている。
・自学ノートを活用	家庭学習の取組を定着させるために自主学習ノートを配布し、毎日の課題を行う取組を行っている。より効果的な取組をしているノートを紹介し、よりよい学習の進め方を身に付けられるようにしている。
・「学びのススメ」の活用	各教科を学ぶ価値や学習の進め方をまとめた学習シラバス「学びのススメ」を生徒とともに保護者会の資料として活用することで学習の取組の共有化を図っている。
・ISNINAN 進学フェアの実施	10校以上の上級学校の先生に来校してもらい、生徒と保護者が自由に話しを聞ける機会を PTA 主催で設けることで、生徒と保護者両方の進路選択に向けた意識向上を図っている。